

2009 年静岡県沖の地震の現地被災調査メモ

1. 東名高速道路の盛土崩壊箇所 (写真 1)

- ・場所は牧之原市牧之原三栗。三栗川右岸
- ・地形図を見ると細い尾根上。ただし、路線方向を見ると両側より低い箇所。
- ・現在復旧作業中

2. 勝間, 坂部

- ・屋根瓦がいくつか被災

3. 吉田町住吉

- ・下水道のマンホールの浮き上がり : 約 7 c m (写真 2)
- ・マンホール周辺の路面の沈下 (埋め戻し土の沈下によると思われる)
- ・下水道管路上の路面の沈下 (埋め戻し土の沈下によると思われる)
- ・周辺ではブロック塀の傾いた箇所がいくつかあり

5. 大井川港 (切り込み港湾)

- ・被害がない様子

6. 焼津市小川港

- ・水産試験場側の岸壁で岸壁背後地盤が数 cm 程度沈下 (写真 3)
- ・周辺の家屋の被害はない様子
- ・海岸すべりもおきていない (1498 年の地震ではこの付近で海岸すべりが発生したのではないかと思われる)

7. 相良町大江で道路変状

- ・ただし、これは今回の地震ではなく以前の豪雨か何かで発生したのかもしれない。

8. 相良港

- ・切り込みと埋立と両方あるようで、埋立の部分の岸壁に被害があったようである。
- ・南側岸壁が被害がひどく、くの字型に孕みだし、背後地盤沈下。(写真 4)
- ・孕みだしの最大値は 70cm 程度。沈下量の最大値は 50cm 程度。

9. 御前崎港

- ・西港地区は立ち入り禁止の岸壁がありその被害は不明。はいれた岸壁は被害なし。
- ・西港地区の東端で噴砂あり。今回の調査では唯一液状化発生といえる箇所。ただし、規模は小さい。(写真 5)
- ・その他の地区とマリーンパーク御前崎にかけて被害なし。噴砂もなし。



写真 1



写真 2



写真 3



写真 4



写真 5